



正興データセンター



2014年 フクオカRuby大賞 奨励賞受賞



システムコントロールフェア2007



第4回プラチナ大賞審査委員特別賞受賞

6-3 情報部門(株)正興ITソリューション)

この20年のあゆみ

1985(昭和60)年に立ち上げた情報事業は、(株)日立製作所への技術者派遣に始まり、同社からの受託開発、その後のSI事業へとビジネス領域を拡大してきました。

事業領域は公共・金融・製造・流通と多岐に亘る中、大きな転機になったのが1997(平成9)年の博多港ふ頭(株)から受注した港湾業務システムの開発でした。

この開発にかけた時間は、当社クラウドサービスの進化と深化に必要不可欠であったといえます。主力サービスの港湾クラウドサービスは、コンテナターミナルのオペレータ業務サポートシステムを中心に四国、東北、北海道と導入が進み、日本全国でサービスを展開、トップシェアを確立しました。その後、大型港で採用されたことや、サポート対象の業務範囲拡大により事業は大きく進展しています。

2000(平成12)年よりベンチャー事業(株)エーエスピーランド、エスクーマーケティング(株)として立ち上げたEコマースサービスやeラーニングサービスは、ターゲット分野を絞り込んで推進する中、2005(平成17)年に分離独立した正興ITソリューション(株)に事業を集約、特徴あるクラウドサービス事業に軸足を置きました。

2015(平成27)年には新たなサービスとしてヘルスケアクラウドサービスを立ち上げました。元気な高齢化社会創りのために、地場の大学や専門機関と共同で研究し、また正興電機グループの健康経営の取り組みとも呼応し、企業・社員の健康改善や介護予防向け、自治体と協調した市民の健康サポートといった各種のサービスモデルを開発し展開しています。

近年はこういった開発スタイルが多くの分野で確立しつつあるといえます。

- ①大学や専門機関、自治体との共同研究・社会実装です。福岡市や行橋市など市民参加の健康寿命延伸事業にも積極的に参加し、実証事業を介してサービスにつなげています。
- ②スタートアップ企業との連携です。顔認証技術や電子錠制御、食事分析、コンテンツ開発において、ベンチャーのサービスと当社サービスを連携させ、新たな価値提供に取り組むことができました。

人材や技術面においては、全社横断チームでAI/DXによる新たなサービスの開発や企業価値創造の具体的な取り組みも始めており、最新技術の積極活用や専門事業者との連携も推進中です。

システム開発においては、当社流のオフショア開発の実践による付加価値向上策も顕著に進んでいます。正興ITソリューションフィリピンとの連携を高度化することで、アジャイル・ペアプログラミングの作業を共同で進めているところです。双方(英語、日本語)の語学力アップにもつながり、システムは共通言語であるプログラミング言語で通じ合えています。今後の当社の開発スタイルとして進化と深化を図ります。

主要な製品の変遷

(1) 港湾・物流ソリューション

港湾ソリューションは1997(平成9)年の博多港向けコンテナ・ターミナル・マネジメントシステムの構築に始まりました。

国際コンテナ貨物物流を熟知し、全国の港へとシステムを展開する中で、各港固有のニーズを拾い上げシステムを改良、後に港湾・物流の関係業界全体をサポートするトータルソリューションへと進化しています。

このサービスは、九州をはじめ、北海道、東北、北陸、関東、関西、四国、中国地方の全国約70社の港湾物流会社に採用されました。海外展開についてはODAのベトナム、カンボジアなど、アジア地域で広くサービスを展開する計画を進めているところです。

① コンテナ台帳サービス

コンテナターミナルでのコンテナ在庫、ゲート搬出入、本船荷役業務、貨物保税管理をサポートするシステムです。2006(平成18)年に福井県敦賀港でサービス開始後、導入する港湾は年々増加し、2020(令和2)年には北海道の石狩湾で採用されるなど、全国23港で稼働中です。

Sea NACCSとのデータ連携を自動化するSuccess Gatewayやコンテナの状況を視覚的に表示するヤードプラン、本船荷役プラン、ヤードオペレーション機能などの従来機能に加え、コンテナの搬出入Web予約機能など、ターミナル外部の利用者へ向けたオプションも展開する、きめ細かいサービスが特徴です。

② 外航船会社向けサービス

輸出貨物ブッキング情報・船荷証券発行や輸入貨物の積荷目録情報・税関申請などを管理するシステムです。2009(平成21)年に韓国船会社の日本総代理店に採用され、日本全国30か所の港で利用されています。

2012(平成24)年にNVOCC業者向けサービスを、2018(平成30)年には内航船舶運航管理システムを新たに構築し



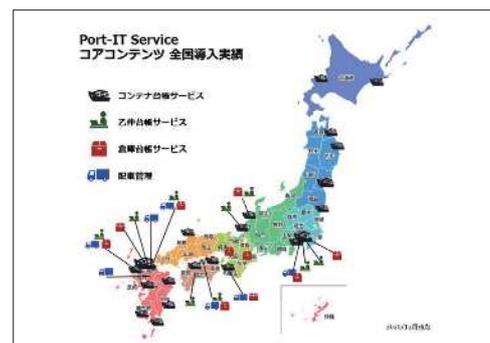
博多港アイランドシティコンテナターミナル



井本商運(株)内航船(ながら)



GPS活用位置情報ソリューション



Port-IT Service コアコンテンツ全国導入実績



倉庫台帳サービス、ハンディ端末での検品作業



介護保険認定審査支援システム(アイラビット)



歩KING(合計歩数ランキング)



古賀市職域対抗歩く王決定戦表彰状授与式

サービスを開始しました。

③倉庫台帳サービス

さまざまな品目毎に入庫・出庫画面を用意し、作業料・保管料計算などの請求機能があり、倉庫内での荷渡が可能で発券倉庫にも対応した、倉庫業務を支援するシステムです。2005(平成17)年に佐賀県伊万里港にてサービスを開始し、九州・福岡、首都圏、関西などでも利用されています。

④配車管理サービス

陸運業者向けに輸送貨物の管理・車両手配(配車)管理業務をサポートするシステムです。2014(平成26)年に四国で採用され、現在では全国5社で稼働中のサービスです。GPSデバイスを活用するなどDX化に向けサービスの拡充に取り組んでいます。

(2)健康経営支援ソリューション

①福祉・介護分野パッケージ

本システムは自治体の介護保険認定審査会業務を支援するパッケージ(アイラビット)です。2000(平成12)年より販売代理店としてサービスを開始しました。販売、運用を通して業務ノウハウを蓄積した後に、2011(平成23)年には開発元の九電ビジネスソリューションズ(株)からの事業移管を受け、以降開発元としてさらなる拡販にも努めています。

現在、全国50自治体で導入され、九州内のシェアもトップを争うまでに成長しています。介護保険における国の制度改正にも随時適応し、システムは今なお進化を続けています。

②健康管理ソリューション

2013(平成25)年から従業員の健康促進策を強化してきました。運動量や摂取カロリー、体重など健康に関するデータを集めて「見える化」するシステムを開発。大学との共同研究を通じ、インターネット上で生活習慣の改善を支援するコンテンツづくりを進めてきました。2014(平成26)年に健康管理ヘルスケアクラウドサービス「Health-Ledger」を開発・販売開始。同年、第6回フクオカRuby大賞にて「奨励賞」を受賞しました。2016(平成28)年よりアドバイス・フォローのためコミュニティ機能を搭載。生活習慣改善指導が必要な対象者に、保健師・産業医から非対面での保健指導が受けられ、家族にもIDを発行してフォローできる機能も追加されました。さらに、利用者の利便性・操作性向上のために、各種のデータを

近距離無線通信(Bluetooth®)に対応した健康器具・端末と連携することで簡単に登録できるようになりました。さらに利用者の行動変容を促すツールとして、スマートフォンに対応したアプリを開発。健康促進だけでなく、仲間と歩くといったコミュニケーション強化にもつながっています。2019(令和元)年には健康ポイントを導入し、健康づくりに関する行動変容を実施することで、ポイントが貯まり、商品と交換できるようになりました。「社員が健康でなければ良い製品やサービスを提供できない。将来は医療費削減など社会貢献につなげたい」という想いで、さらなるサービスの拡充に尽力します。

③自治体向け健康ポイントアプリ

県民、市民へ生活習慣の改善や受診勧奨といった行動変容を働きかけ、超高齢化社会の健康寿命の延伸を図り、公的医療費・介護費の抑制を目指すアプリです。主に働く世代の健康無関心層に対して、日常のウォーキングや健診受診、健康イベント参加などにポイントを付与することで、無理せず楽しみながら生活習慣の改善につながる環境づくりをサポートしています。

2017(平成29)年に大分県でサービス開始後、利用者数は年々増加。佐世保市、古賀市、徳島県、熊本市と広がり、2019(令和元)年には、福岡市のアプリ「ふくおか散歩」をリリースしました。楽しみながら生活習慣を改善するだけでなく、社会課題解決に取り組む団体への応援にも利用できる「地域応援プロジェクト」もスタート。地域活性化の一助となっています。

(3)Eコマースソリューション

①オンラインショッピング

開発の契機となったのは、2000(平成12)年に立ち上げたジョイントベンチャー事業の(株)エーエスピーランドです。2012(平成24)年に総合エンターテイメント企業の(株)マルハン向けに、従業員の福利厚生のための旅行予約サイトを構築しました。旅行会社とのデータ連携のほか、従業員が投稿するフォトコンテストも実施するなど和やかなサイトコンテンツを提供しています。

②産業廃棄物管理システム

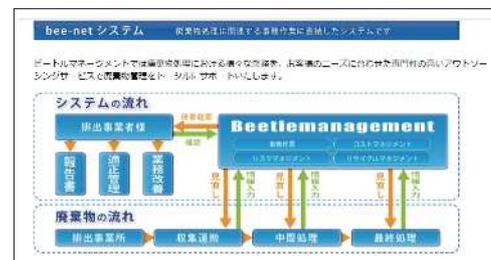
2016(平成28)年に(株)ビートルマネージメントと共同で産業廃棄物管理システム「bee-net」を開発。産業廃棄物の適正



佐世保市健康サポートアプリ(健康サセボン)



Eコマースソリューション



産業廃棄物管理システム bee-netシステム



産業廃棄物画像追跡システム (Beetle Eye)

管理システムを提供し、全国の排出事業者、委託業者が利用しています。また公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが運営する電子マニフェストシステムと自動連携し、行政への報告業務軽減に大きく役立っています。

(4)教育ソリューション

eラーニングサービス

2013(平成25)年に福岡大学と(株)金星堂と共同で授業を活性化する「CheckLink」システムを開発しました。「CheckLink」はこれまでのeラーニングサービスとは根本的に異なり、先生と学生を結び付け授業を活性化することが目的で、全国の大学で利用されています。2020(令和2)年に蔓延したCOVID-19によりオンラインがメインとなった授業現場では「CheckLink」が双方向コミュニケーションの活性化に大きく貢献し、現場の先生より感謝の言葉を頂きました。



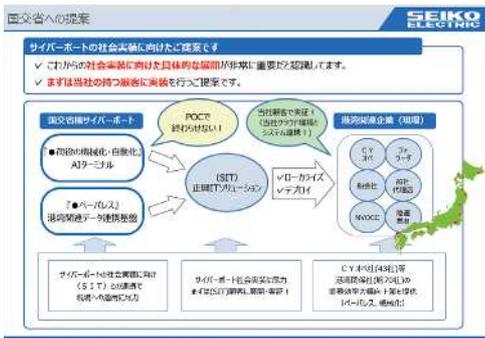
CheckLinkシステム

将来に向けて

当社は国土交通省の港湾分野の機械化、電子化を実現するサイバーポート計画に積極的な協力を行っており、日本の港湾の国際競争力を高め、業界の取扱量を倍増させていきます。サイバーポート計画の実装を通して、当社の港湾ソリューションの価値も高めていきます。

ヘルスケア分野では、大学との共同研究やベンチャー企業との連携によるオープンイノベーションでソリューションに磨きをかけていくことはもとより、今後は運用力もさらなる向上を目指します。また、健康的な日本の未来を確実に手に入れるための構図を描き、各種ソリューションの実装に力を入れます。

正興ITソリューションフィリピンとの協調図式を確固たる基軸として仕上げ、旬な技術を活用した製造業向けのソリューションの開発・展開を図ります。このフェーズにおいては、受託開発分野での実績や、先に述べた国内社員とフィリピン社員が協調したアジャイル・ペアプログラミングによる協働作業のさらなる洗練化も必要になります。双方の人材の技術力向上のためにも、ベテラン技術員による教育環境整備にも努めます。DX人材・文化も育成し、新たな基軸づくりにも入ります。



サイバーポートへの取り組み



ヘルスケア事業への取り組み